
2019年4月2日（火）発行

メルマガ～開示会計を学ぶ～ Vol. 49

株式会社スリー・シー・コンサルティング

- 1 会計ニュースダイジェスト（2019年3月）
- 2 会計基準の公表予定等
- 3 ワンポイント開示会計問題演習「持分法損益等」
- 4 児玉厚の開示川柳「目標と役員賞与はリンクする！」
- 5 編集後記

1 会計ニュースダイジェスト（2019年3月）

- 1) 東証、市場構造の在り方等に関する意見及び論点整理を公表（3月27日）

<https://www.jpx.co.jp/equities/improvements/market-structure/index.html>

- 2) ASBJ、在外子会社等の「リース」の取扱い案を公表（3月25日）
（意見募集期限：2019年5月27日）

https://www.asb.or.jp/jp/accounting_standards/exposure_draft/y2019/2019-0325.html

- 3) IFRS「開示の原則」に関する概要を公表（3月21日）

<https://www.ifrs.org/news-and-events/2019/03/disclosure-initiative-principles-of-disclosure-project-summary-now-available/>

- 4) 金融庁、記述情報の開示に関する原則・好事例集を公表（3月19日）

<https://www.fsa.go.jp/news/30/singi/20190319.html>

- 5) 金融庁、有価証券報告書レビューの実施等を公表（3月19日）

<https://www.fsa.go.jp/news/30/sonota/20190319.html>

- 6) ASBJ等、中小企業会計指針を改正（3月6日）

(日本税理士会連合会)

http://www.nichizeiren.or.jp/taxaccount/sme_support/guide/#n190306

(日本公認会計士協会)

https://jicpa.or.jp/specialized_field/20190306ujj.html

(日本商工会議所)

<https://www.jccci.or.jp/>

(企業会計基準委員会)

https://www.asb.or.jp/jp/accounting_standards/misc/misc_others/2019-0306.html

2 会計基準の公表予定等

- ・先月公表された基準等については上記「会計ニュースダイジェスト」をご覧ください。

1) IFRS (2019年6月までの公表予定)

(無印：確定 ED：公開草案 DP：ディスカッションペーパー
PS：プロジェクト概要 FS：フィードバック文書)

(1) リサーチプロジェクト

- ・開示に関する取組み－開示の原則：PS 2019年3月済

(2) メンテナンスプロジェクト

- ・IFRS第17号「保険契約」修正：ED 2019年4-6月予定
- ・単一取引から生じる資産及び負債に関連した繰延税金（IAS第12号改正）
：ED 2019年4-6月予定
- ・認識の中止のための「10%テスト」に伴う報酬（IFRS第9号改正）
：ED 2019年4-6月予定
- ・銀行間取引金利改革及び財務報告への影響：ED 2019年5月予定
- ・リースインセンティブ（IFRS第16号改正）：ED 2019年4-6月予定
- ・初度適用者としての子会社：ED 2019年4-6月予定
- ・公正価値測定における課税（IAS第41号改正）：ED 2019年4-6月予定
- ・概念フレームワークへの参照の更新（IFRS第3号改正）
：ED 2019年4-6月予定

・ワークプラン

<https://www.ifrs.org/projects/work-plan/>

・IASB Update

<https://www.ifrs.org/news-and-events/updates/iasb-updates/>

2) 日本基準

(1) 実務対応報告第18号：公開草案2019年3月済

- ・現在開発中の会計基準に関する今後の計画（更新：2019年3月25日）
<https://www.asb.or.jp/jp/project/plan.html>

3 ワンポイント開示会計問題演習

*メルマガ読者にのみ公開しています。

4 児玉厚の開示川柳

*児玉厚（株式会社スリー・シー・コンサルティング 代表取締役）による「開示川柳」をお届けしております。

「 目標と 役員賞与は リンクする！ 」

昨日は有価証券報告書の経営者による目標分析と役員報酬の改正に伴う関係をテーマにセミナーをした。

役員賞与等の報酬連動型役員報酬については、目標と実績を有価証券報告書に開示することは経営者にとっては強烈なインパクトであり、目標達成が必須化することになると考えます。

さらに、2020年3月決算からは、経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析（以下、MD&A という）においてキャッシュ・フローの状況についての分析・検討内容等が新たに加わりました。

持続的成長をするか否かを判断するにあたり、中期経営計画等の目標に照らして、PDCA サイクルの状況を丁寧に説明してほしい」という投資家の目線から見れば、キャッシュ・フローについても計画・実績比較で説明することが望ましいと考えます。

この場合には、計画目標は2019年3月の時点で作成していなければならないこととなります。

*続きはメルマガ読者にのみ公開しています。

5 編集後記

*メルマガ読者にのみ公開しています。

発行：株式会社スリー・シー・コンサルティング
〒171-0033 東京都豊島区高田 3-14-29 KDX 高田馬場ビル 7 階
URL : <http://www.3cc.co.jp/>

Copyright (c) Three C Consulting Co.,Ltd. All Rights Reserved.